

◆介護サービス事業者、病院・施設、自治体・地域包括支援センターの皆様へ

「介護の日」に合わせて、一般の高齢者や利用者・家族、介護の仕事に携わろうと考えている方などに、「介護」に対する理解を深めてもらえるよう、「介護の日しんぶん」を活用してみませんか。

例えば、①「介護の日」のイベントに合わせて配布②事業所のサービスの一環として配布③従業員の研修や介護労働に対するモチベーションの向上④地域にPRするための材料—などで活用していただけます。

上記のような活用の場合、**100部単位で 1部85円(税・送料込み)**にて提供させていただきます。この機会にぜひ、「介護の日しんぶん」をご活用いただきますよう、お願い申し上げます。

- 概要**
- 媒体名……………「介護の日しんぶん2021」
 - 発行日……………2021年10月下旬
 - 体裁……………ブランケット判 12ページ(カラー&モノクロ)
 - 発行部数……………10～20万部(予定)
 - 主な読者対象……………介護保険利用者・家族、介護事業者・従事者、一般高齢者、介護養成校学生
 - 購読料金……………1部300円(税込)

申込み 以下の申込書に必要事項をご記入の上、本社宛にFAXでお申込み下さい。

FAX 06-6766-7812

弊社ホームページ(www//care-news.jp)からも注文を承ります。

キリトリ

「介護の日しんぶん2021」お申込書

ご注文部数：100部単位(1部＝税・送料込85円)
100部 × 組 = 計 部(計 円)

事業所名 支店・部署名

住 所

電話番号 FAX番号

担当者名

株式会社シルバー産業新聞社

■本 社
〒542-0064
大阪市中央区上汐2丁目6番13号 喜多ビル
TEL (06) 6766-7811
FAX (06) 6766-7812

■東京オフィス
〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町3丁目27番3号 ガーデンパークビル
TEL (03) 5888-5791
FAX (03) 5888-5792

いい日、いい日。
11月11日は
介護の日
「介護の日しんぶん 2021」

<趣 旨>

「介護の日」は、2008年より厚生労働省が「11月11日」を介護に関する啓発の日として制定しました。毎年、「介護の日」を中心に、その前後2週間を啓発活動の重点実施期間と位置付け、介護事業者や地方自治体、厚生労働省が一丸となって、介護に関する情報や介護労働の魅力などを発信しています。

「介護の日しんぶん」は、介護を受けておられる方や、介護をされている方、介護の現場で働かれている方々を応援する新聞です。介護保険制度の仕組みをはじめ、介護サービスの利用方法や注目のケア手法、効果的なケアマネジメントや介護予防の取り組み、最新の福祉機器、著名人の介護体験まで、介護の現場で役立つ情報を満載しております。

2021年版では、コロナ禍でも必要な介護サービスや医療を受けて、自立した生活を実現していくのが当たり前に感じられるような紙面づくりを目指しています。ぜひ「介護の日」のイベントや社内での研修、ご利用者やご家族、地域の方々への啓発活動の一環として、「介護の日しんぶん」をご活用いただければ幸いです。

介護を受けておられる方や介護を提供されている方、これから介護を必要とする方などが、介護に対する理解を深め、「大変だけど、明日も頑張ろう」と感じてもらえるような紙面をお届けいたします。

シルバー産業新聞社

「介護の日」に込めた想い



前厚生労働大臣 田村 憲久さん

11月11日(いい日、いい日)は、「介護の日」です。厚生労働省、地方自治体、事業者が一丸となって、介護に関する情報や介護労働の魅力などを発信する日です。「介護の日」に込めた想いや考えについて、厚生労働大臣(取材当時)の田村憲久さんに伺います。

認知症との関わり方



医療法人社団 翠会 和光病院 院長 今井 幸充さん

65歳以上高齢者の認知症有症者は2020年に約602万人で2025年には700万人を超えるといわれています。認知症の種類はアルツハイマー型や脳血管性、レビー小体型、前頭側頭葉型など複数あり、状態に合わせたケアが重要となります。認知症の早期発見と予防方法、コロナ禍の認知症ケアについて認知症専門病院の和光病院の今井幸充氏に解説頂きます。

介護予防とフレイル予防の重要性



国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長 荒井 秀典さん

新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛により、運動機会減少による身体機能低下や、社会との交流機会の減少などの課題が出てきました。身体機能等の低下によるフレイルを防がないと要介護状態に繋がるリスクがあります。コロナ禍でのフレイル予防の重要性や改善方法について国立長寿医療研究センターの荒井秀典氏に解説頂きます。

見逃さない。口腔機能低下のサイン



東京医科歯科大学歯学部附属病院 摂食嚥下リハビリテーション外来 教授 戸原 玄さん

最期まで元気に過ごすためには身体機能だけではなく、しっかり栄養を摂る「食べる」ことも重要です。しかし、「飲み込みにくい」などの口腔機能の低下は気が付きにくく、症状が進行してから病院にかかることも多いです。口腔機能の低下の原因や早期発見のポイント、予防方法などについて東京医科歯科大学歯学部附属病院の戸原玄氏に解説頂きます。

在宅での食事の困りごと



認定栄養ケア・ステーション eatcoco 代表 管理栄養士 米山 久美子さん

高齢者の場合、「食欲がない」「うまく食べられない」などが原因で食事量が減ると、低栄養を招きやすくなり、ひいては全身の機能低下につながります。在宅要介護者が陥りやすい低栄養リスクの原因とその対処法、在宅での食事の工夫について、日々在宅訪問を実践し「在宅栄養専門管理栄養士」の資格をもつ米山久美子さんが解説します。

高齢者スポーツの祭典「ねんりんピック」



スポーツ庁長官 室伏 広治さん

60歳以上の高齢者が全国から集まり、スポーツや文化活動を通じて交流する「ねんりんピック」。新型コロナウイルス感染拡大により、2020年岐阜大会は残念ながら開催中止となりましたが、全国の元気シニアの運動意欲の根源の一つとして、未病予防／健康増進の観点からも、重要なイベントとなっています。スポーツ庁長官の室伏広治さんに、ねんりんピックに寄せる期待を聞きます。

「自宅で安心して最期まで」を支える在宅医療



大阪府医師会 副会長（中尾医院院長） 中尾 正俊さん

持病の予後管理だけでなく、ADL低下に伴う褥瘡や誤嚥、認知機能低下など、様々な医療ニーズを抱え、一人では通院が難しい高齢者が自宅で暮らし続けるには、在宅医療によるサポートが欠かせません。急性／慢性疾患、廃用症候群などに対し、医療・介護専門職らと協働しながら対応する医師に、在宅医療の実際について聞きます。

心にゆとりのある介護の実現



一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 田辺 有理子さん

アンガーマネジメントとは、「イライラ」などの怒りの感情とうまく付き合うための心理トレーニングとして、様々な業界で注目されています。自分の怒りを理解することで、気持ちをリセットしたり、正しく怒りを伝えることができます。介護をするときのアンガーマネジメントのポイントを、日本アンガーマネジメント協会の田辺有理子氏に解説頂きます。

介護福祉士に一発合格！ 86歳の現役ヘルパー



プラスワンケアサポート 千福 幸子さん

73歳でヘルパーになった千福幸子さんは、76歳で国家資格である介護福祉士に一発合格、さらに80歳にして合格率20%の難関・ケアマネジャー試験の合格も果たしました。今なお現役で利用者・家族を支える千福さんに、介護の仕事のやりがい、そして向上心を持ってチャレンジを続けることの大切さを教えていただきます。

私の介護体験記



キャスト 駒村 多恵さん

キャストとして活躍する駒村多恵さんは10年以上、在宅で母親の介護を行っています。また、介護福祉士や介護食士3級の資格も取得されています。忙しい日々を送る中で、在宅介護と仕事を両立するための工夫や、コロナ禍での在宅介護の体験談などについて、語っていただきます。